令　和　　3年　10月　　1日
学 校 法 人 都 築 学 園
福岡天神医療リハビリ専門学校
校　長　　大　川　　照　明

令和3年度　学校関係者評価報告書

≪評価対象期間≫

自：令和3年4月　1日

至：令和4年3月31日

学校法人都築学園　福岡天神医療リハビリ専門学校は、福岡県内で新型コロナウイルス感染症患者の発生状況に鑑み、令和3年5月7日から6月4日までの間、学校関係者評価委員会を書面開催いたしました。令和3年度の自己点検・評価で明らかにした学校運営の現況、課題及び改善策について学校関係者評価委員の忌憚のないご意見をいただき、取りまとめた結果を「令和2年度　学校関係者評価報告書」として、ここに公表いたします。

教職員一同、教育の質の向上、合規適正な校務運営、透明性の確保等、より良い校務運営に取り組んで参りますので、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学校関係者評価委員名簿

田中　耕太郎	御所ヶ谷ホームクリニック院長　　福岡市中央区医師会　元会長
藤田　　康夫	自治協議会会長
青沼　聡一郎	福岡第一高等学校・第一薬科大学付属高等学校　統括教頭　広報統括部長
深井　　伸吾	有限会社いきいきリハビリケア代表取締役
吉村　　久弥	第14・17期　作業療法学科学生保護者
鍋　　慶一郎	第4期　作業療法学科卒業生

1　教育理念・目標

教育基本法及び学校教育法に従い、本校の建学精神である「個性の伸展による人生練磨」を基調に「個性を伸ばし、自信をつけさせ、社会に送り出す」を教育理念とし、医療福祉関係において社会のニーズに即応できる有為な人材の育成を目的として、専門的なリハビリテーション医療の知識・技能を身につけた地域医療に貢献できる理学療法士、作業療法士、はり師・きゅう師、柔道整復師を養成することを教育目標としている。

課　　題	改　善　策	学校関係者評価委員ご意見等
1-1-1 医療福祉関係において時代の変化に応じ、社会のニーズに即応できる有為な人材育成	病院・施設等との密接な連携による時代に応ずる必要な人材像を具現化する。このため、臨床実習指導者会議を継続的に開催する。	【意見】 同意
1-1-2 学科等に対応するニーズの的確かつ継続的な把握	病院・リハビリ施設等から社会的ニーズや医療業界の将来的な動向に関する情報を入手し、教育目標や育成人材像への影響について継続的に分析して行く。 このため、教員には必要な研修等を着実に受講させ、その内容を教育に反映させる。	【意見】 同意
1-1-3 職業養成校として国家資格取得のための教育方法について工夫が必要である。指定規則改正を反映した国家試験出題基準（傾向）がある程度明確化されたことに鑑み、カリキュラムの変更を検討する。	・学生の学習成果を踏まえ、個々の学力レベルに応じた教育の実施 ・1 年次より国家試験対策を行い、国家資格取得に意識を向けた教育の実施 ・病院等研修成果を少しでも教育（シラバス）に反映させる。 ・研修発表会による医療現場の情報の共有	【意見】 同意
1-1-4 社会のニーズに合致した魅力的な専門学校	・高校及び業界団体との連携の更なる強化 ・付加価値のある教育内容の充実を図るた	【意見】 同意

づくり	め、日本アクティビティ協会「健康ゲーム指導士」及び日本スポーツリハビリテーション学会(JSSR)トレーナーに関する教育の実施	

2 学校運営

学校設置当初から本校の建学の精神を基調とした教育理念に基づき、毎年度、学校運営方針を定め中長期的な視点のもと、教育に影響を及ぼす環境の変化や前年度の教育成果を分析し、年度の教育、学生支援、募集広報等について事業計画を策定し、法人等の規程を遵守しつつ着実に校務を運営している。

課　　題	改　善　策	学校関係者評価委員ご意見等
2-1-1 医療リハビリ専門士に対する社会的ニーズや医療業界の将来的な動向を踏まえた学校運営方針の継続的な検討	学校関係者評価を活用した継続的な検討	【意見】 同意
2-3-2 学校としての法人規程の更なる具体化	法人の規程を踏まえた学校規程の整備・具体化	【意見】 同意
2-5-1 業務を実施するうえで、新たに作成する必要のある規程類の検討	作成した規程類の実効性、問題点の把握	【意見】 同意
2-6-1 WiFi 環境を活用しているのは柔道整復学科のみ。 Wifi 環境活用に関する教職員の意識改革が必要	e ラーニング教育の普及要領を検討するとともに、状況により現行の Wifi 環境のｸﾞﾚｰﾄﾞｱｯﾌﾟを検討する。	【意見】 同意

3 教育活動

厚生労働省の指定養成校として開校し、学生一人一人の個性を活かし、学力に合ったきめ細かな教育指導のもと実践的な技術能力に力を入れ、国家試験合格率及び就職率100％達成に向け、教職員一同全力をもって取り組んでいる。

課　　題	改　善　策	学校関係者評価委員ご意見等
3-1-1 卒業後、実社会で即戦力となれるよう、より実践的な教育課程の編成	卒業生の就職先への訪問等による追跡調査と教育課程の編成への反映	【意見】 同意
3-1-2 ・令和3年度国家試験は、柔道整復学科を除いて、更なる努力が必要である。 ・受験率の向上	・学科ごと受験率・合格率目標の設定 ・国家試験対策（授業、試験要領等）の見直しと判定基準の客観化を検討。 ・学生の個々の特性・能力に応じた計画的な補習時間の確保 ・遠隔授業の質の向上	【意見】 病院等での実習を通じ、今後の人生設計を意識して国家試験に臨んでいただきたい。（鍋） →（回答）学生個々の性格・能力に応じて効果的に指導いたします。
3-2-1 令和3年度国家試験は、柔道整復学科を除いて、国家試験の合格率が、前年度より下回った。	・学科ごと受験率・合格率目標の設定 ・学生の個々の特性・能力に応じた計画的な補習時間の確保及び個別指導 ・遠隔授業の質の向上 ・実効性ある国家試験対策と受験率の向上	【意見】 同意
3-2-2 臨床実習病院・施設等以外の学校関係者及び関連分野企業等の意見の反映	・学校評価委員会の活用及び積極的な関連分野企業等からの意見聴取 ・臨床実習指導者会議の開催（PT・OT）	【意見】 同意
3-2-3 実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムの編成・充実	実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムの更なる研究と工夫	【意見】 OTの資格に加え、その他どんな資格や認定制度があるか、また、それがどのように役立つ

		か等、学生のうちにしることができると良いと思います。(鍋) →(回答)校内実習、病院実習等、あらゆる機会を通じて普及いたします。
3-2-4 ・結果に対する分析・反映内容が不明確 ・授業アンケートの継続 ・教員相互の授業観察の工夫	・授業評価の実施・評価体制の検討と制度化 ・個人ごとの授業アンケート結果表の作成・配布 ・学科相互間の相互授業観察の実施	【意見】 同意
3-4-1 実践的なカリキュラムの構築	・国家試験に合格できるカリキュラム内容の検討 ・スポーツトレーナー、健康ゲーム指導士の授業内容への取り組み	【意見】 同意
3-4-2 ・令和3年度国家試験は、柔道整復学科を除いて、更なる努力が必要である。 ・卒業試験の時期、内容の検討	・学科ごと受験率・合格率目標の設定 ・国家試験対策(卒業試験の時期の検討、業者模試の活用) ・学生の個々の特性・能力に応じた的確な指導体制の構築及び計画的な学習時間の確保 ・判定基準の客観化を検討。	【意見】 同意
3-5-1 安定的な医療リハビリ系教員資格保有者の確保	資格保有者に関する継続的な情報収集及び募集	【意見】 同意

3-5-2 学会等の研修については、業務の都合また予算上で参加できない場合がある。 ・病院等研修の成果が目に見える形で校務に反映しているとは言えない。	・可能な場合は、オンラインでの参加及び資料の入手 ・研修成果発表会等の実施	【意見】 同意
3-5-3 教員間の授業内容の把握が不十分	・教員相互授業観察により、授業の質の向上を図る。	【意見】 同意

4 学習成果

各学科毎に明確な目標を設定し、学期ごとの評価判定と学生個々に応じたきめ細かな教育・指導により、段階的な実力向上を図っている。国家試験合格率は、柔道整復学科を除き、2年連続で前年度を下回る結果であった。

中途退学率の軽減策については、担任制により学生の身上把握に努めるとともに、1年次から学力不足の学生に対し時間外補習を計画的に実施する等、組織的に退学率の軽減を図っている。

就職に関しては、毎年卒業生就職率100％を達成している。

課　　題	改　善　策	学校関係者評価委員ご意見等
4-2-1 令和3年度国家試験は、柔道整復学科を除いて、その合格率向上施策が更に必要である。	・学科ごと受験率・合格率目標の設定 ・国家試験対策（卒業試験の時期の検討、業者模試の活用） ・学生の個々の特性・能力に応じた的確な指導体制の構築及び計画的な学習時間の確保	【意見】 同意
4-3-1 卒業生に関するデータが学校として整理する具体策が必要。	医療業界や社会で活躍する卒業生の名簿の整備	【意見】 同意

5 学生支援

就職支援については、毎年の「労働条件セミナー」、「就職セミナー」及び「合同就職説明会」の開催により学生の職業意欲の涵養に努めるとともに、クラス担任及び就職担当によるきめ細かな進路指導により、概ね希望通りに100％の就職ができている。

経済的な支援に関しては、学校独自の学費減額制度はもとより、高等教育の修学支援新制度を含めた日本学生支援機構の奨学金制度等を有効に活用できるよう学生の経済的支援態勢を整備し、懇切丁寧な対応に努めている。

課　　題	改　善　策	学校関係者評価委員ご意見等
5-2-1 ・成績不良による退学者防止が一部不十分 ・出席簿による日々の出席管理やタイムリーナ指導がやや不十分 ・病気、家庭（経済的）の理由による退学者が一定数存在する。	・学生個々の能力に応じた先行的かつ継続的な学習指導 ・個々の状況が把握し易い出席簿の改善 ・学則指導、特に試験に関する事項について指導を徹底する。 ・経済的理由に対しては、各種奨学金制度やや高等教育の修学支援新制度を紹介し、学生を支援する。	【意見】 同意
5-3-1 ・学生の悩みを早期に察知できるネットワーク構成の検討が必要 ・相談箱利用回数年間2回と低調	・今後カウンセラー資格を持った教職員を配置し、より効果的な学生相談体制の整備 ・学生に対する本制度の周知	【意見】 同意
5-4-1 ・高等教育修学支援新制度の機関要件の維持及び制度の普及 ・専門実践教育訓練給付金制度、教育訓練支援給付金制度対象校としての指定取得	・学生の充足率80％確保、国試受験率の向上 ・保護者への積極的な情報提供及びクラス担任を含めた継続的な修学支援制度に関する普及教育	【意見】 同意

5-4-4 組織的な支援体制については、十分整備できていない。	定期的に学生の意見を聴取し、必要な支援体制を確立する。	【意見】 同意
5-6-1 能動的な支援体制は整備できていない。	就職支援体制の強化による能動的な卒業生への支援体制の構築	【意見】 同意
5-6-2 関連業界との連携等が十分とは言えない。	病院等の関連業界との能動的なアプローチ	【意見】 同意

6 教育環境

本校は、福岡市天神の近傍（薬院）に位置しており、交通アクセスが最高で通学に大変便利である。また、病院等の臨床実習施設も福岡市を中心に県内に多く存在し、研修しやすい環境にある。

学校の施設・整備については、医療系リハビリ専門士養成施設として必要な基準を十分に満たしており、防火・環境点検やエレベーター等の保守点検も定期的に受検し合規適正に管理している。

課　　題	改　善　策	学校関係者評価委員ご意見等
6-1-1 規則改正に伴う備え付け教材・機械器具の整備	経費面を考慮した施設整備の中・長期整備計画の策定と計画的実行	【意見】 同意
6-2-1 病院等の臨床実習施設の安定的な確保	・臨床実習指導者会議（バイザー会議）等による病院・施設との連携強化 ・病院研修（兼行）の機会をとらえ臨床実習施設の確保	【意見】 同意
6-3-2 経年変化により、学校施設・設備の老朽化が進んでいる。	中・長期の施設・設備整備計画の作成と計画的な整備の実施	【意見】 同意

7 学生の受け入れ募集

本校は開校以来、建学の精神である「個性の伸展」を重視し、医療系リハビリ専門士への夢と希望をもった生徒・社会人を幅広く受け入れている。地域的には九州・山口各県を中心に、教職員に担当区域を付与し、それぞれの担当区域内の高校訪問を計画的に実施し、募集広報を行なっている。また、ホームページやパンフレット、SNS等の各種広報媒体を活用し、教育内容や国家試験及び就職状況等について学校情報を提供している。

課　　題	改　善　策	学校関係者評価委員ご意見等
7-1-1 ・教職員の広報能力の向上	・広報会議における情報の共有及び教育 ・教職員の募集広報に係る勉強会及び機会教育の実施	【意見】 同意
7-1-2 ・１８歳人口の減少及び競合校の増加により、募集学生の確保に苦慮することが予想される。	・競合校との差別化（本校のウリ）検討と積極的な広報 ・マスコミを活用した、本校の取り組みに関する情報発信 ・教職員の募集広報能力の向上 ・オープンキャンパスの魅力化 支援学生による説明の場の拡大	【意見】 同意
7-2-2 入学者の学習能力に応じた授業の実施。	入学者の学力を把握するための学力試験の実施を検討（柔道整復学科では数年前から実施している。）	【意見】 同意

8 財務

学校法人都築学園全体として効率的かつ効果的な経営に取り組んでいるところであり、中・長期的には学校の財務基盤は安定しているものと考えている。また、私立学校法や学園規程に基づき、毎年公認会計士による監査を受け、結果についてはホームページ上で情報公開している。

課　　題	改　善　策	学校関係者評価委員ご意見等
8-1-1 財務基盤の安定は定員に見合う入学者の確保が重要である。	効果的かつ効率的な募集広報	【意見】 同意
8-2-2 予算面から安定的な学生数の確保が重要である。	効果的かつ効率的な募集広報	【意見】 同意

9 法令等の遵守・内部質保障

本校は文部科学省から認可された専修学校であり、厚生労働省の医療系リハビリ専門士養成施設であるため、専修学校として文部科学省及び厚生労働省の設置基準を遵守するとともに、九州厚生局（県医療指導課）による立入検査を受検する等、合規適正に学校運営を行なっている。また、自己点検・評価を行ない問題点の改善を図るとともに、その結果をホームページ上で情報公開している。

課　　題	改　善　策	ご意見等
9-3-1 学校関係者による評価	令和元年度以降学校関係者評価を実施	【意見】 同意

10 社会貢献・地域貢献

地域のボランティア活動として地域の介護施設のイベント支援や福岡県警察主催の犯罪防止キャンペーン及び自転車マナーキャンペーン運動に学生・教職員が参加し地域との連携強化を図って来たが、令和元年度以降、新型コロナ感染症の影響で実質的な活動は出来ていない。

一方、令和2年度は、8月のスペシャルオープンキャンパスで福岡第一高等学校のバスケットボール監督の特別講演、10月のスペシャルオープンキャンパスで日本アクティビティ協会理事長の健康ゲーム指導士養成講座を開講し、オンライン併用で広く聴講希望者を募り、健康ゲーム指導士養成講座は、民放で放映される等、好評を得ることができた。

課　　題	改　善　策	学校関係者評価委員ご意見等
10-1-1 コロナ禍を踏まえた社会貢献・地域貢献のあり方を検討。	令和４年度以降、シルバーｅスポーツの普及に取り組む予定。	【意見】 今年度、警固公民館でeスポーツを実施していただき、大変好評でした。 今後もシルバーeスポーツの普及に取り組んでほしいと思います。（藤田） →（回答）来年度以降も本取組を継続します。 市町村の健康教室などに教員が講師として出向ける機会等あれば地域との連携に繋がると考えます。（鍋） →（回答）シルバーeスポーツのほか、地域に貢献するための方策について検討いたします。

10-2-1 学生のボランティア活動の状況の的確な把握	ボランティア活動に参加している学生の激励や輸送等の支援を積極的に行うとともに、ホームルームでの紹介並びに活動様子をホームページ等に掲載することにより継続的な学生への啓蒙を図る。	【意見】 同意

11　全般を通じての意見

(1) 国家試験合格率の低迷が喫緊の課題であると思うが、そこだけに目を奪われることなく、長期的な視野での人材教育を行っていただきくことを望みます。

少子高齢化の影響ははっきりと表れてきており、医療・介護分野での人材不足は目も当てられない状況です。

中途退学者も近縁の業界に就職できるような支援体制があれば活躍の場は大きいと思います。

専門分野の知識だけでなく、リーダーシップやマーケティング、ＩＴ等、人材としての質を高める科目を取り入れたり、ＥＱ理論など、モチベーションアップや集中力アップにつながるようなカリキュラムもあってもいいかと思います。

企業内の人材育成法などは参考になることが多いかと思います。(田中)

→（回答）国家試験合格率の向上はもちろん、医療人として必要な教育を実施するため、継続的にカリキュラムを見直してまいります

(2) 改善策もすばらしい取り組みだと思います。

まだまだコロナの状況ですが、そんな中でもすばらしい学生が育ち、社会に飛び立てることを期待しています。(深井)

→（回答）十分な感染対策を講じたうえで、より効果の高い教育の実施に心がけてまいります。

(3) 課題、改善策については特に意見はありません。

ただ、現代の課題はコミュニケーション不足だと思います。医療・福祉関係の仕事で、人間関係は二の次かもしれませんが、実はそれが大きな問題になりかねません。福岡天神医療リハビリ専門学校の教育理念にもあるように「個性を伸ばし、自信をつけさせ、社会に送り出す」という面で、知識はもちろん、コミュニケーション能力、表現力等もつけることが必要と思います。

１日１人でも良いと思いますが、みんなの前で 1～３分間スピーチ等を実施し「夢、なりたい自分、今の自分、長所、短所、趣味、今日の良かったこと、悪かったこと」等、人前で笑ったり、恥をかいたりして話すのも、社会に出るための大切な勉強になると思います。(吉村)

→（回答）コミュニケーション能力、表現力については科目の中で十分高めることができるよう、授業内容の充実を図ってまいります。スピーチの実施についても学科長、クラス担任との調整により検討いたします。

(3) 今後の社会・経済の動向などについて考えることができ、国や医療・政治のあり方など、周囲に流されないような意見を持つ学生さんが多く育ってくれるよう望みます。

→（回答）授業だけでなく学校生活の全ての場面で、広い見識を持った学生が育つよう、教育の質の向上を図ってまいります。

（注）

1　第1項～第10項の課題の欄に記載している「1-1-1」等の番号は、本校が作成した令和3年度自己点検・評価報告書の評価項目番号と合わせており、特に今回課題がないと判断した項目については、記載しておりません。

2　評価委員の敬称は、省略させていただいております。